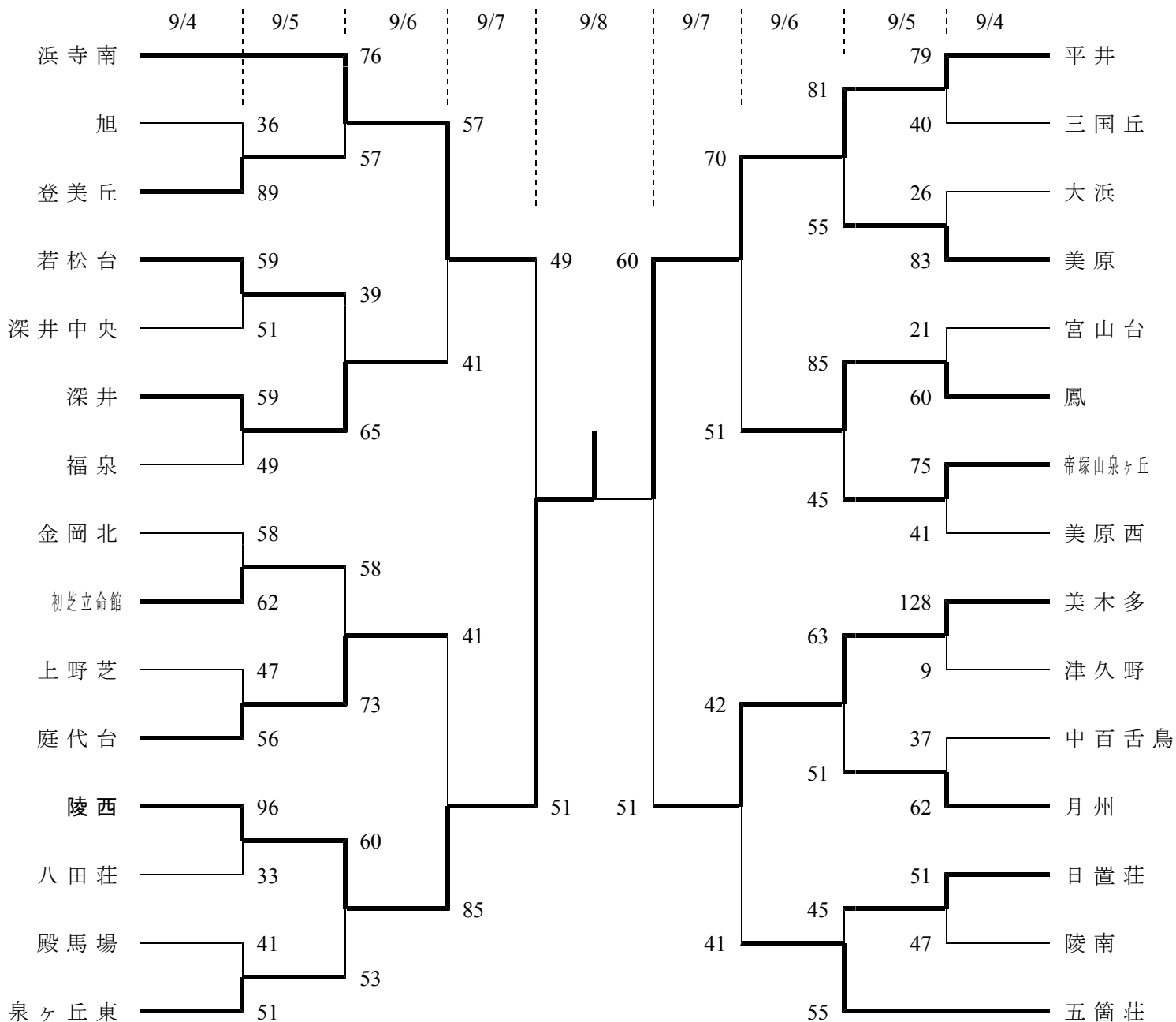


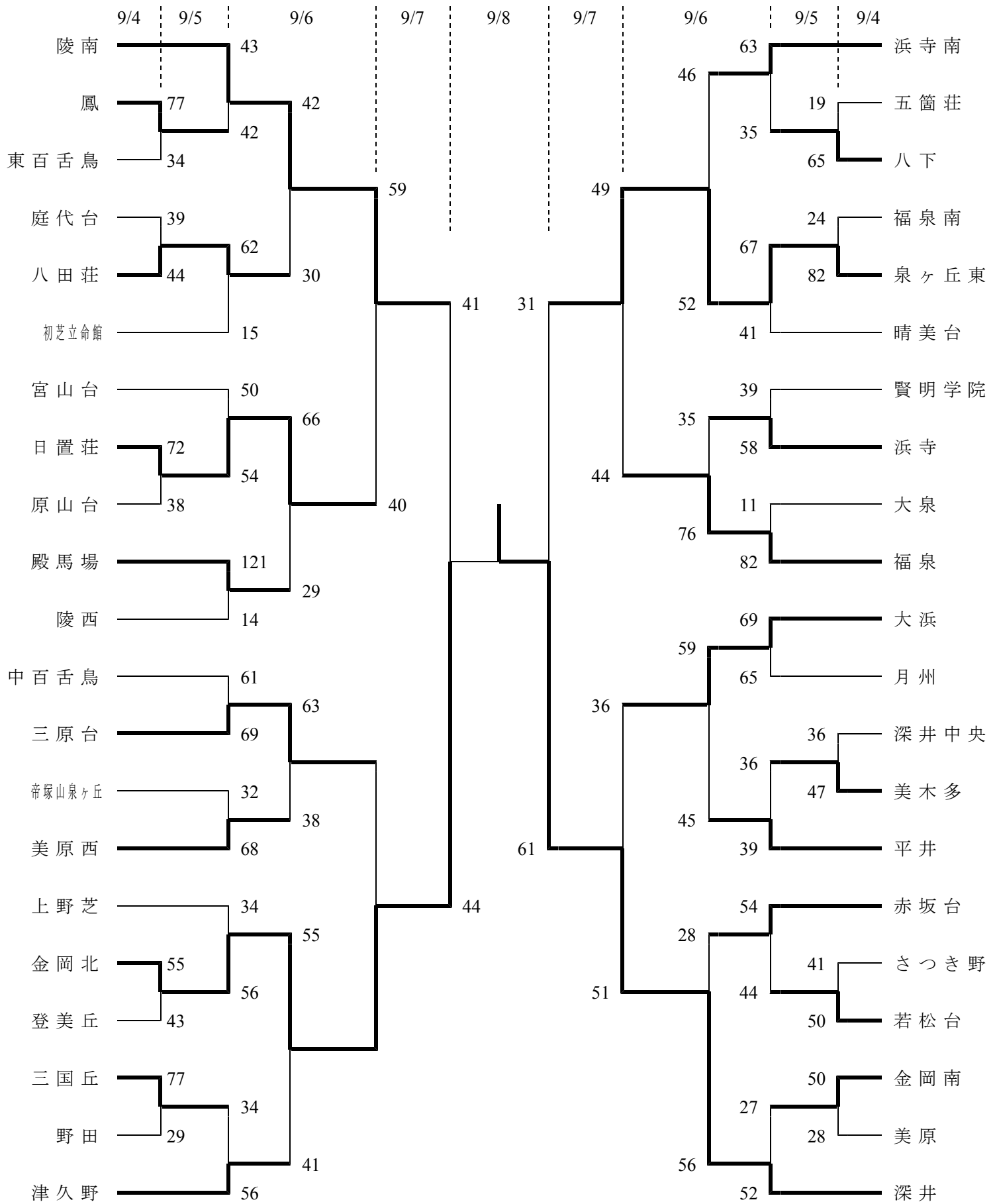
2009年度堺総体

男子の部



決勝
 陵西 62 - 48 平井
 20 1Q 10
 6 2Q 13
 17 3Q 11
 19 4Q 14

女子の部



決勝
金岡北 41 - 44 深井

4 1Q 13
12 2Q 9
5 3Q 10
17 4Q 6
3 OT 6

男子決勝戦評

陵西はハーフコートマンツーマン、平井はオールコートマンツーマンでスタート。平井④のパスランでゲームが動く。対する陵西は⑥を中心としたオフェンスリバウンドから粘り強く攻め、リードを奪う。平井はファウルがかさみ、タイムアウトで立て直しを図るものの、リバウンドを支配する陵西がペースをにぎったまま第1Qを20-10で終える。

第2Qに入ると平井がリバウンドを修正し、陵西にオフェンスリバウンドを許さない。さらにトランジションを早め、積極的にシュートを狙う。陵西はファウルが増え、落ち着きを取り戻した平井が流れをつかんでいく。ここで陵西はタイムアウトで気持ちを引き締め、前半終了間際は一進一退の攻防が続いた。26-23と平井が詰め寄って前半を終えた。

第3Qが開始されるとまずは互いにシュートを決めあい、ゲームの流れを奪い合う。そのような中、陵西のディフェンスが効果を発揮し、平井は2分間ノーゴールが続く。それに対し陵西は着実にゴールを重ね、得点差を開きにかかる。平井はディフェンスを2-3ゾーンに変化させ活路を見出そうとするも、陵西は④が3Pを決め、主導権を譲らない。43-34で第3Qを終える。

第4Qに入ると、互いのチームが最後の力を振り絞り、攻防を繰り返す。一時、平井も5点差まで詰め寄るが、勢いに乗った陵西が突き放し、62-48で初優勝を飾った。

(福嶋)

女子決勝戦評

金岡北、深井ともにオールコートマンツーマンで試合が始まる。互いに粘り強いディフェンスをみせていたが、深井のカットインに対し、金岡北がファウルを重ね、フリースローでの得点を許す。金岡北は④が3Pを決めるが、深井の厳しいディフェンスに攻めてを欠いて13-4と深井リードの展開となる。

第2Qに入ると金岡北が1-2-2のハーフゾーンにディフェンスを変える。これが効果を発揮し、リズムを取り戻した金岡北が④のカットインなどで得点を重ねる。一方、深井は⑥がインサイドで活躍し、点差を縮めさせない。しかし、残り3を過ぎたところで、金岡北のスティールから深井のファウルを誘う。徐々に流れを引き寄せ始めた金岡北が点差を縮め、22-16で前半が終了する。

後半が始まると深井はハーフコートマンツーマン、金岡北はオールコートマンツーマンにディフェンスを変える。互いに守り合う時間帯が続き、4分間ノーゴールが続く。金岡北が④の3Pで均衡を破ったものの、深井はその後リバウンドからの速攻で得点を重ね、点差を広げ始める。32-21で第3Qを終える。

第4Qで金岡北は再び1-2-2のハーフゾーンに変える。プレッシャーから深井のミスを誘い、金岡北⑤の連続得点で32-26と差を縮める。その後、互いに一進一退の攻防が続くが、残り2を切ってから深井にミスが続き、金岡北が一気に追い上げる。残り34秒で金岡北④の3Pが決まり、また⑤のフリースローでついに金岡北が逆転に成功する。しかし、深井が残り6秒から速攻を成功させ、オーバータイムに入る。

延長に入ってからすぐ、深井が④⑨のパスカットから連続得点を決め、いち早く流れをつかむ。金岡北もかかんに攻めるものの、最後は深井が確実に決め続けたフリースローで勝利を決定づけ、タイムアップを迎えた。白熱した決勝は最後まで目が離せない展開であった。

(川人)